

# あかけり

No.342



2017. 5

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



# あかげら

# 5月号

も く じ

- 
- 01 縦走路「チャレンジ精神」 中根 和子  
02 今後の日程（事務局）
- 
- 03 今後の山行計画
- 
- 07 運営委員会報告  
09 事務局から  
10 県連報告  
11 専門部報告  
●山行管理委員会 ●教育遭対部  
12 行ってきました！  
13 志向別グループからのお知らせ  
◆盛岡山友会ボルダリング活動
- 
- ▲山行報告  
14 春の秋田駒ヶ岳を滑る 小泉 岳央
- 
- 16 ある日ある時 “＜夢の事実＞” 淡 望天  
18 花筏（はないかだ） 裳地 則子  
19 交流の広場

自分のことだけで精一杯の状況の中、個々で判断し行動しなければならない、力量を問われる中での行動はトレッキングとは違う高所登山の厳しさを痛感する。

何としても頂に立ちたい、行けないメンバーの為にも行くしかない、そんな思いで臨んだアタック午前3:00、ここは6,200mC2であるヘッドランプを頼りにビスタリービスタリー。風が出て来た、指先が千切れるように冷たい、オーバークラブがカリカリに凍っている。ユマールを握りしめ一步一步必死だ。

陽が登り始め周りが少しずつ見えてきた。マカルーが手に取れる程真近に迫り、その西壁が日に照らされ息を呑む程美しい姿で堂々と鎮座している。今バルンツェの懷に抱かれながら一步を記しているのだと思うと身体中が熱くなり元気が湧いてきた。

(私とバルンツェ) より抜粋

海外デビューから15年、様々なチャレンジをしてきたが2012年に登ったバルンツェ(7,129m)では後一步と言う所でクレパス帯に阻まれ撤退を余儀なくされた。しかし最高到達点7,000mと言う高さは私にとって最大のチャレンジであり歴史です。

残念ながら頂に立つことは出来なかったけれど30年近い山人生で、山登りが生活の一部となり同じ思いを共有する沢山の素晴らしい仲間に出逢いそして支えられ北から南へと山三昧。山が好き。歩くのが好き。困難な事を頑張るのが好き?自称チャレンジ旺盛な山バカ。

座右の銘は一生青春、一生勉強と変わらぬ位置付けを持って何事にも切磋琢磨しながら前向きに取り組んできました。チャレンジとは自分の力量を知る事なりと古希を迎えた今も身体の許す限り山ばかりではなく色々なことにチャレンジして行きたいものです。

# 今後の日程 (2017/6/1~2017/7/4)

行 事		行 事	
6/1		18	◇登山教室(実技第2回)
木		日	
2		19	
金	5/29~6/4 No.385 小田嘉洋	月	
3	▲岩手山(名山)	20	6/19~6/25 No.234 古川 孝
土		火	
4		21	
日		水	
5		22	
月		木	
6	☆第3回常任理事会(県連) ◇登山教室(机上第1回)	23	
火		金	
7		24	☆八甲田山(県連)~25日
水		土	
8	◇登山教室(机上第2回)	25	▲階上岳(山行企画) ▲早池峰山~鶏頭山(四季)
木		日	
9		26	
金	6/5~6/11 No.279 松田幸久	月	
10	▲五葉山(四季)	27	6/26~7/2 No.382 三浦明夫
土		火	
11	◇登山教室(実技第1回)	28	◎6月例会(勤労福祉会館)18:45~
日		水	
12		29	▲六角牛山(ウィーク)
月		木	
13	◇登山教室(机上第3回)	30	
火		金	
14	◎運営委員会(勤労福祉会館)18:45~ ▲茶臼岳(スケッチ) ☆薬師岳(県連)	7/1	
水		土	
15		2	▲岩手山(自然保護) ▲姫神山(自然保護)
木		日	
16		3	
金	6/12~6/18 No.2 渡邊健治	月	
17	▲三ツ石山(ゆうゆう)	4	7/3~7/9 No.416 福山茂和
土		火	

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka\_yamakan@freeml.com

# 今後の山行計画

\*掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m 柳沢コース			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	6月3日(土)	地形図	大更・姥屋敷(1/25000)	
目的	春の花を見る			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★★	
コメント	春の花を見つけに行きましょう			
締切り	5月27日(土)	打ち合わせ	5月29日(月) おでつて2F18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 五葉山			企画	四季の山G
実施日	6月10日(土)	地形図	五葉山・盛(1/25000)	
目的	四季の山グループの力を...			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	ロングコース 大岩の乗越しあります			
締切り	6月3日(土)	打ち合わせ	6月5日(月) おでつて2F18:30~	
問合せ	No. 19 中村美栄子 連絡先:TEL 090-4318-5128			

【山域/ルート】 茶臼岳			企画	心のスケッチ山行
実施日	6月14日(水)	地形図	茶臼岳 (1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	山野草に会えるのが楽しみです			
締切り	6月2日(金)	打ち合わせ	6月5日(月) おでつて2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 薬師岳 1644.9m			企画	県連
実施日	6月14日(水)	地形図	早池峰山・高松山(1/25000)	
目的	お花観賞山行(担当:アウトドアを楽しむ会)			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	オサバ草見頃です。 登山口から頂上往復します。			
締切り	6月6日(火)	打ち合わせ	6月7日(水)18:30~場所:おでって2F	
問合せ	千田勝則		連絡先::TEL 019-635-0201	

【山域/ルート】 ミツ石山			企画	ゆうゆう
実施日	6月17日(土)	地形図	(1/25000)網張・篠崎	
目的	頂上から山々を見ましょう。			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無積雪):★	
コメント	スタートはリフトに乗っての山行です。			
締切り	6月10日(土)	打ち合わせ	6月12日(月) おでって2F18:30	
問合せ	連絡先::TEL 高橋(恵) 090-4046-3599			

【山域/ルート】 階上岳 739.6m			企画	山行企画部
実施日	6月25日(日)	地形図	階上岳(1/25000)	
目的	岩手青森県境の東北百名山に登る			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(積雪期):★	
コメント	青森側から登ります プラスアルファも打ち合わせで決めましょう			
締切り	6月17日(日)	打ち合わせ	6月18日(月) おでって2F18:30	
問合せ	松田 徹 連絡先::TEL 090-8781-1168 (SMS可)			

【山域/ルート】 八甲田山 1586m			企画	県連
実施日	6月24日(土)~25日(日)	地形図	雲谷・田代平・酸ヶ湯・八甲田 (1/25000)	
目的	奥羽B協議会交流山行			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	赤倉コースから酸ヶ湯への縦走			
締切り	6月18日(日)	打ち合わせ	6月19日(月)18:30~場所:おでって2F	
問合せ	千田勝則		連絡先 : TEL019-635-0201 渡邊健治 090-9634-2257	

【山域/ルート】 早池峰山～鷄頭山			企画	四季の山グループ
実施日	6月25日(日)	地形図	早池峰山(1/25000)	
目的	早池峰山～中岳～鷄頭山と縦走してみましよう			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★★	
コメント	真夏の山から海を眺め、のんびり山歩きしましょう			
締切り	6月15日(木)	打ち合わせ	6月19日(月) 場所:おでって2F	
問合せ	工藤敬子 連絡先::TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 六角牛山			企画	ウィークディクラブ
実施日	6月29日(木)	地形図	陸中大橋(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	遠野三山の一つに登りませんか			
締切り	6月15日(木)	打ち合わせ	6月19日(月) おでって2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先::TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 岩手山			企画	自然保護部
実施日	7月2日(日)	地形図	(1/25000)松川温泉・大更・篠崎・姥屋敷	
目的	日本勤労者山岳連盟の「一斉クリーンハイク」活動に参加しましょう。			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★★	技術(無積雪):★★★	
コメント	岩手山のコースは希望を募ります。(案)3ルート			
締切り	6月17日(土)	打ち合わせ	6月19日(月)勤労福祉会館 201号 18:30	
問合せ	連絡先::TEL 455 大倉 博 080-4524-5310 (補佐:444 大森 信慈)			

【山域/ルート】 姫神山			企画	自然保護部
実施日	7月2日(日)	地形図	(1/25000) 渋民	
目的	日本勤労者山岳連盟の「一斉クリーンハイク」活動に参加しましょう。			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	姫神山をきれいにしましょう。登山道の定点観測も行います。			
締切り	6月17日(土)	打ち合わせ	6月19日(月)勤労福祉会館 201号 18:30	
問合せ	連絡先::TEL 433 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 鳥海山 2236m			企画	県連
実施日	7月8日(土)～7月9日(日)	地形図	鳥海山・小砂川・湯の台(1/25000)	
目的	労山東北・奥羽ブロック交流登山			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	祓川ヒュッテから頂上往復、9日登山のみ参加も可			
締め切り	6月28日(水)	打ち合わせ	6月30日(金)18:30～場所:おでつて2F	
問合せ	千田勝則 連絡先 : TEL019-635-0201 渡邊健治 090-9634-2257			

【山域/ルート】 夕張岳 1668m			企画	千田勝則
実施日	7月15日(土)～17日(月)	地形図	夕張岳(1/25000)	
目的	固有種の高山植物写真撮影			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	日本二百名山、花の百名山			
締め切り	7月2日(日)	打ち合わせ	7月3日(月) 18:30 オデツテ	
問合せ	千田勝則 連絡先 : TEL 019-635-0201			

あかげら6月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部  
No.305 山田潔までお願いします。

メール : [kyamada0815@ybb.ne.jp](mailto:kyamada0815@ybb.ne.jp) 締め切りは6月9日(金)です。



# 2017年度 第2回運営委員会報告

(出席者数：15/23名)

2017.5.10(水)18:45～ 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 小原  
千田 古川 福山 小川 渡部(彩) 大倉

【進行：中村(美) 記録：中村(美)】

## 1 会長あいさつ

連休中、天気も良くたくさんの山行が事故もヒヤリハットもなく実施できた。  
しかし、全国ではまた、雪崩事故もあったようだ。

## 2 報告事項・確認事項

### (1) 現在の組織状況 (5月10日現在)

会員数 98名 (男 52名/女 46名) 登山時報 51部

再入会 No.406 畑中善四郎さん

新入会 No.474 桜庭由季子さん

### (2) 各専門部等の取組状況

①山行管理委員会…今年度の新しい計画書・報告書をHPにアップ

＝ペーパーでも少し印刷する

新山行管理ルールもHPにアップ(別記参照)

②遭難救助隊…実効的なマニュアルを他の山岳会などを参考に作りたい。

③教育遭対部…5/14(日)ピッケル・アイゼン訓練、

7/8～9 ツェルト・ビバーク訓練

④会報部…アンケートについて、勉強会についてなど(別記参照)

⑤組織部…登山教室について、納山祭について(別記参照)

⑥自然保護部…7/2(日)清掃登山について(別記参照)

⑦県連理事会…別記参照

## 3 協議・承認事項

### (1) 組織部

- ・納山祭の会場について協議
- ・初級登山教室一講師陣の検討

### (2) 例会における司会・会場片付担当表

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

◆当面の予定

6月 6日 (火) 県連理事会(第3回)	6月 13日(火) 登山教室(机上3回)
6月 6日 (火) 登山教室(机上1回)	6月 14日(水) 運営委員会(第3回)
6月 8日 (木) 登山教室(机上2回)	6月 18日(日) 登山教室(実技第2回)
6月 11日 (日) 登山教室(実技第1回)	6月 28日(水) 6月例会

次回運営委員会 6月14日(水) 18:45~

原稿のお願い

6月号の原稿締め切り

◎ 6月10日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

□ 送り先

◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス [k-kubo@mba.nifty.ne.jp](mailto:k-kubo@mba.nifty.ne.jp)

## **事務局から**

### ☆ 会員動向（5／13現在）

98名（男52、女46） 登山時報 51部

新入会者 No. 474 桜庭由季子さん

再入会者 No. 406 畑中善四郎さん

### ☆ 新会員名簿の作成について

新しい会員名簿を作成しました。

個人情報が多く含まれていますので、取り扱いには十分注意してください。

### ☆ 新志向別グループ誕生

名称：ボルダリング同好会

代表：三浦明夫

事務局：岡義博

会計：工藤敬子

### ☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月／10月	教育遭対部	5月／11月	山行企画部	6月／12月	会報部
7月／1月	組織部	8月／2月	事務局	9月／3月	自然保護部

6月例会は 6月28日（水） 18：45～

# 2017年度 第2回県連理事会報告

2017.5.9 (火) 19:00～20:30

花巻市学園都市会館 2F 会議室

出席：渡邊健治・千田勝利

村上明枝 (文責)

## 1 会長挨拶

白馬での雪崩事故で労山会員巻き込まれる。5月の自然保護集会から今年度の本格的な活動の取り組みとなる。

## 2 報告事項

- (1) 雪山交流山行 4月23日(日) 焼石岳  
釜石：2名、胆江：8名、花巻：11名、盛岡山友会3名、生協：5名  
アウトドア：5名 合計34名  
・小屋の使い方について他会から指摘有り(土足で板の間に上がった)

## 3 協議事項

- (1) 県外合同遠征山行について(12回目)  
期日：9月15日(金)～18日(月)  
山域：神奈川県 丹沢山塊  
見積もりをとり、次回検討、30名以上で実施する。
- (2) お花鑑賞山行(担当：アウトドアを楽しむ会)  
期日：6月14日(水)  
場所：薬師岳～オサバグサ鑑賞  
川原の坊8時集合。雨天中止。
- (3) 第34回岩手県登山者自然保護集会(5月20日 10時から)  
会場：いわて生協ベルフ仙北  
内容：大松倉沢の地熱発電開発構想について  
講師：白藤氏(八幡平の葛根田ブナ原生林を守る会代表) 謝礼5,000円
- (4) 教育・遭対担当者会議(遭難対策担当者会議(西部公民館)6月17日)  
各会のヒヤリハットと全国連から取り寄せた事故事例を検証し、次回の訓練に反映させる。
- (5) 東北B沢救助搬出訓練(宮城県連主管 6月24日(土)～25日(日))  
RAMから4～5名、胆江から数名参加。
- (6) 奥羽B協議会交流山行(青森県連主管)  
6月24日(土)～25日(日) 赤倉コースから酸ヶ湯への縦走
- (7) 各会の登山教室への講師派遣  
県連として講師派遣依頼あれば対応する。
- (8) その他  
・東北・奥羽ブロック交流山行 7月8日(土)～9日(日) 鳥海山  
8日16時受付。9日登山開始7時。  
・新特別基金全国担当者会議 7月1日(土) 東京  
参加者は次回理事会で確認。

# 専門部報告

## ● 山行管理委員会

山行計画書様式（報告書一体）の今年度版を出しました。前年から修正した個所は、年度表記を新しくしたことと装備等チェック表を微修正したのみです。

新様式は、会員専用ホームページからダウンロードできます。印刷したものは、5月例会で希望者に配布します。

The image displays three pages of a mountain trip planning form. The first page contains trip details such as date, location, and objectives. The second page is a detailed equipment checklist with columns for item name, quantity, and status. The third page is for participant information, including names, contact details, and emergency contacts.

## ● 教育遭対部

### 岩登り講習会

日時： 6月4日 8:30~15:00

場所： 盛岡市川目の岩場

申し込み： 233 野中 尚之 090-3360-7424

申し込みは 会員番号：氏名をお願いします。SMSで構いません

締め切り： 5月28日 \*\*打ち合わせはありません\*\*

集合： 国道107号線宮古に向かい 旧川目小学校を過ぎた右側の空き地  
天狗の里の少し手前の空き地です 集合時間 8:00

持ち物： 基本装備、いつもの登山靴、昼食、水  
持っている方はヘルメット、ハーネス、クライミングギア

早池峰山の梯子が苦手な方、槍・穂高等日本アルプスに行きたい方 ご参加ください

# 行ってきました!

4月17日～5月14日現在] その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	4月22日 ～4月23日	八幡平	見返り峠～陵雲荘 ～八幡平エリア	春の八幡平を楽しむ	L.山田(深)・S小原(耕)・S久保・ 武田(秀)・石川・杣澤・高橋 (英)〔会員外〕1名	7	会
2	4月23日	焼石岳	つぶ沼上部平七沢 ゲート～山頂往復	県連雪山交流山 行	L.渡邊(健)・S遠藤(千)・石澤	3	県連
3	4月23日	八方山	長根崎口～八方山 ～三角点往復	岩手の名山を歩 く	L.北田・S中村(美)・工藤(敬)・級 木	4	会
4	4月23日	太田薬師	登山口～山頂～猪 去林道～登山口	里山でカタクリ に出会う	L.古川・S府金(志)・三澤・三戸・ 小野(由)	5	会
5	4月23日	五葉山	赤坂峠コース	県境以外の山ハ ゆったりと登ろ う(トレーニング)	L.加藤(桂)・S大倉・中村(数)・高 橋(陽)・小田(嘉)・小田(春)	6	個人
6	4月23日	姫神山	場内コース	トレーニング	L.吉田(菊)〔会員外〕2名	1	個人
7	4月24日	岩手山	柳沢コース	平日山行を楽し む	L.工藤(敬)・S本間(典)・中村 (美)・日比野・級木・岡(義)	6	会
8	4月30日	太田薬師	友愛の里～登山口 ～左周周回	トレーニング& お花見	L.小田(嘉)・S加藤(桂)・小田(春)	3	個人
9	4月30日	姫神山 (1,123.6m)	田代コース	トレーニング	L.岡(義)・S太田代・柏木	3	個人
10	4月30日	秋田駒ヶ岳	アルパコマクサ～ 女目岳往復	春の秋田駒ヶ岳 を滑る	L.古川・S山田(深)・S三浦(明)・ 小原(耕)・舟越・小泉・徳永〔会 員外〕1名	7	会
11	4月30日	三ツ石山	奥産道取付～ P1448～三ツ石 山～三ツ石山荘～ 松川温泉	馬蹄形縦走を積 雪期限定コース 利用で半分だけ 歩く	L.福山	1	個人
12	4月30日	太田薬師		トレーニング	L.小田(嘉)・小田(春)・加藤(桂)	3	個人
13	4月30日	鳥海山	祓川～七高山往復	春の鳥海山を滑 る	久保〔会員外〕5名	1	個人
14	5月3日	東根山	ラ・フランスコー ス	トレーニング	L.吉田(菊)	1	個人
15	5月3日 ～5月4日	鳥海山	矢島口コース	残雪の鳥海山を 歩く	L.石澤・S中根・中村(美)・遠藤 (千)・新田・日比野・熊谷(久)	7	会
16	5月3日 ～5月4日	鳥海山	吹浦口～笙ヶ岳往 復、吹浦口～文殊 岳往復	鳥海山合宿(日 本海をめがけて 鳥海山を滑る)	久保〔会員外〕4名	1	個人
17	5月3日 ～5月4日	秋田県境	北沢林道～桑原岳 ～上鉢山～大薊山 往復	秋田県境を巡る	L.本間(典)・S中村(数)・工藤 (敬)・高橋(陽)・小田(嘉)・小田 (春)・大倉	7	会
18	5月4日	岩手山	柳沢コース(旧道 往復)	残雪期の岩手山 に登る	L.舟越	1	個人
19	5月4日	羽山・羽黒山	岩沢野草園～羽山 ～羽黒山～旧和賀 スキー場	春の大人の遠足 を楽しむ(修験 道の道を歩く)	L.松田(幸)・S渡部(彩)・S高橋 (英)・松田(希)・戸田・石川〔会 員外〕2名	6	個人
20	5月4日	霞露ヶ岳、鯨山	登山道入口分岐～ 霞露ヶ岳往復、無 線中継所分岐～鯨 山往復	山頂から眺望を 楽しむ	L.千田(勝)・S武田(秀)・川村 (雅)・三澤	4	会
21	5月5日	八幡平	茶臼口～茶臼岳～ 黒谷地～八幡平頂 上～見返り峠	春山の余韻を楽し む	L.吉田(菊)〔会員外〕1名	1	個人
22	5月5日 ～5月6日	聖ヶ岩(福島県 白河市)		岩トレ	L.松田(幸)・松田(希)	2	個人
23	5月7日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L.級木・S中村(美)・北田	3	個人
24	5月7日	毛無森 (1427.2m)	岳～折合沢西尾根 ルート	盛岡市最高峰の 山に登る	L.本間(典)・S中村(数)・工藤 (敬)・日比野・高橋(陽)・小田 (嘉)・小田(春)・加藤(桂)	8	個人
25	5月7日	岩手山	御神坂コース	カタクリ鑑賞	L.舟越	1	個人

# 行ってきました!

[4月17日～5月14日現在] その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
26	5月8日	諏訪沢森、向山 (花巻市大迫町)	霊苑口～諏訪沢森 往復、向山森林公園 ～向山往復	同期(入会)山 行	L本間(典)・S太田代・吉田(菊)・ 府金(志)・斉藤(良)	5	個人
27	5月9日	鳥海山	祓川～七高山往復	鳥海山を滑る	L福山〔会員外〕1名	1	個人
28	5月11日	赤林山	県民の森キャンプ 場コース	平日山行を楽し む	L工藤(敬)・S中村(美)・日比野・ 北田・級木・本間(典)	6	会
29	5月13日	鳥海山	祓川～七高山往復	春スキーを楽し む	L三浦(良)・S村田・杉澤・小 泉・小原(耕)	5	会
30	5月14日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください

## 志向別グループからのお知らせ

### ◆ 盛岡山友会ボルダリング活動

(仮称) 盛友ボルダリング倶楽部

場 所 : 公益財団法人 岩手県スポーツ振興事業団 岩手県運動公園  
020-0122 盛岡市みたけ 1-10-1

連 絡 : 019-641-1127 FAX 019-643-5947

練習場 : ①屋内登はん練習場\_C 認定者1 一人立会で認定なくても練習ができます。  
②屋内登はん競技場 2 (ボルダリングルーム) \_C 認定者二人から練習ができません。

空き状況 : 岩手県スポーツ振興事業団 公益施設予約・案内システムにアクセスして下さい。  
空き状況が確認出来ます。以下の番号にアクセスして下さい。

①利用者番号 1 4 5 4

②パスワード 2 0 0 1 0 4

連 絡 : 岡 義博 080-6542-8871 [yy-oka.25y@etude.ocn.ne.jp](mailto:yy-oka.25y@etude.ocn.ne.jp)

2017.5.1

代表 382 三浦 明夫

事務 433 岡 義博

会計 196 工藤 敬子

# 山 行 報 告



## 「春の秋田駒ヶ岳を滑る」

日時；平成 29 年 4 月 30 日（日）

天候；晴れのち曇り（朝のうち霧）（1,500m付近より風強し）

メンバー；CL 古川、SL 山田 K、CL 三浦 A、小原、船越、徳永  
藤本（会員外）、小泉（記録）

行動時間；6：30 雫石運動公園ー7：28 アルパこまくさー10：15 八合目避難小屋  
ー11：30 男女岳直下 1,550m付近 撤退ー12：05 八合目避難小屋（大休止）  
ー13：35 アルパこまくさ

GW 初日の連休を利用し、『燧ヶ岳・会津駒ヶ岳』への銀世界ツアーが計画されていたが、初日の天候があまり芳しくないこと、檜枝岐村の国道が除雪されていないこと等を理由に中止となり、天候回復が期待できる翌 30 日に、秋田駒ヶ岳を山田さんが計画して下さった。

盛岡市街では桜も散り始めたかと言う頃なのに、田沢湖から乳頭温泉郷へと続く県道沿いの立派な桜並木には一輪の花も開いておらず、冬が長い地であることを物語っていた。

しばらくスキーを担がなければならないか、と心配されていた雪解けだったが、歩きだして程なくスキー場のゲレンデから雪面が続いており、胸を撫で下ろす。霧も晴れ、照りつける日差しに皆一枚、また一枚と上着をザックに仕舞う。先行アイゼン 1 名、スキー 1 名、後続スノーシューのボーダー 1 名と連休ながら比較的静かな山旅。

ゲレンデハイイクが終わり、うねる林道のショートカットハイイクが始まるかと思いきや、ゴロゴロと除雪された雪の塊が道を阻んでいるではないか…。皆の口からも「もっと遅くからだって間に合うんでねー」「地元企業は立てねばねーからなあ」など小言が聞かれるが、迂回するより仕方ない。沢を渡るところで道路に下りることを余儀なくされるが、そこで作業も中断されていた為、以後は順調に高度を上げることが出来る。

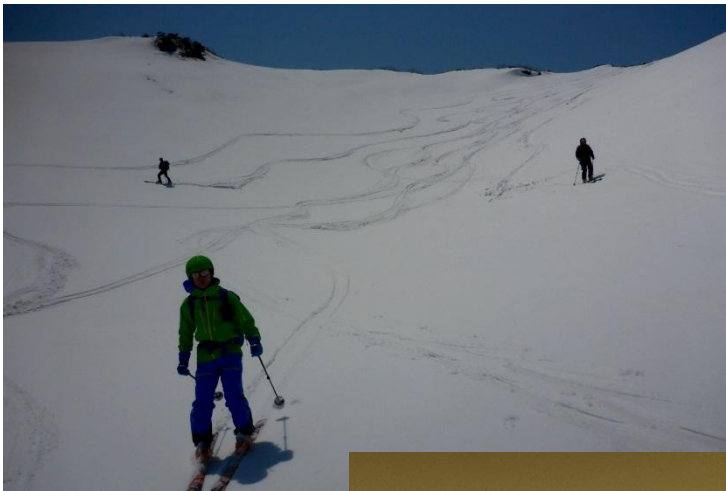
八合目避難小屋着、ここからがいよいよと山道歩き。若干複雑な地形に感じたが、尾根沿いに顔を出したブッシュから左側に一段下がる様な感じでルートを取る（以前に登った時は尾根と沢の中腹を縫って行ったが、傾斜がきつくて歩きづらかった為、尾根上に近い方が正解かも、と経験者談）。徳永気象予報士からはレンズ雲に関する解説が入り、大変になる。



阿弥陀池小屋が現れ、その手前の湿地に降り立つといよいよ風が目立つようになる。皆既に登頂は断念の意向を滲ませるが、とりあえず稜線上まで出て見ることに。阿弥陀池から男岳へと続く稜線の景色を風に煽られつつ眺めながら正式に撤退を決断し、記念写真を撮ってシールを外す。昨日降った不安定な新雪に覆われている条件を加味すると、安全策として正解だろう。案の定気持ちよく滑らない雪に、残念さばかりが際立ってくる。滑降は沢筋を選んで正解だったと思う。快適な斜面を逃さないよう、と明夫 SL からもアドバイスがある。却って新雪の付いていない下部の方が快適だった。

八合目避難小屋に戻って昼食の大休止の後、傾斜の緩い林間を滑る段になると小原さんの遅れが目立つようになる。何やら WAX が問題なのではないか、と皆で一旦停止し、今度は WAX ミニ講座が開かれる。最後はゲレンデのだらだらした斜面に腿の筋肉が泣かされたが、全員無事帰着でめでたく山行終了となる。

帰路、水沢温泉の白濁した湯に癒され、さっぱりとした後反省会を行い、残り僅かなシーズンに各々想いを馳せながら帰宅しました。



## “&lt;夢の事実&gt;”



敗戦後の子どもたちはアトムとともに育った。科学の子であるアトムというロボット。ただの機械ではない。人間の心を持ち、人類への夢と希望を与える科学ロボットだ。アトムが生まれて半世紀以上過ぎた。21世紀はアトムで描かれたように、いたるところに機械ロボットが活躍して、じつに便利な社会になっている。だが、心を持ったり、夢を見るロボットは生まれていない。

山登りには磁石と地図は必要不可欠。道に迷ったとき、正しい位置を教えてくれるのだから。もっとも、地図の読み方と磁石の使い方が分からなければ、つまり頭が使いなればなんの役にも立たない。ところが、いまやGPS (Global Positioning System) という優れたものが生まれた。今どこにいるかが<見れば分かる>。頭を使うひまもない。まさにロボットとおなじだ。世の中が進化するほど、頭を使わなくてもいい。近未来の自動車となると、信号も目的地もすべて車が処理してくれるそうだ。これでは、人間は退化するばかりだいらぬ心配をしてしまう。精密機械のロボットは、与えられた情報は正確に覚えているから、夢という曖昧さの入りこむ隙間がない。与えられた事実を正確に運用するロボットの頭と、現実という不確かな現象に左右され、迷い逡巡する人間のどちらを信用すべきか。となると、人間はどう見ても不利になってしまう。

どんな出来事でも科学の力で解決してしまうのなら、お任せ人間になっても安心して生きられる。ところが、科学の力では解決できない、あるいは説明できないことが身近にごろごろしている。治療方法が見つからない難病などもその例だが、病気以外にも不思議な現象がある。死という問題も科学で説明できない。人はなぜ死ぬのかはまだだれも分らない。科学に頼れないのだから、信仰や迷信など心の救いになるものに頼ることになる。

死を告げる現象というのも科学ではお手上げになっている。死は空耳とか夢で告げられるとも言われる。だが、空耳とか夢は、その本人だけしか知らされない。他人の証言や証拠を示せない。証明できないのだから科学でない。それでも、19世紀には真面目に、つまり<科学的>に夢を分析して、心の病を治療しようとした。目覚めているときは、意識という番人が見張りについている。番人がいる間は本音をだせない。眠ると意識という番人がいなくなる。夢の中でなら、番人不在というわけで、本音が夢に現れてくる。心の病をいやす治療として人気を博したが、当たるも八卦的な部分もあり、現在では限定的に採用されている。もともと、欲望、願望、妄想、不安といった、もろもろのことが夢の中に出現する。目が覚めれば、これは夢だったのだと夢の中で見たことを振り払う。もし信じてしまうなら、夢と現実がごちゃ混ぜになり、頭のおかしい奴になってしまう。根拠のない

もの、事実でないことから生まれた夢なのだから信用できない。事実と妄想の境界は夢の中では分らない。

ところで、夢枕に立つということばがある。シベリア抑留されていた人のところに、日本にいるはずの父が訪ねてきた。目を覚ましてそれが夢の中の父だと分かった。帰国後に父の死を知る。父の命日と死亡時刻が、夢で父に出会った日時だった。あれは、父が自分に別れを告げに来たんだなと思ったという。父の霊が夢を通して現れたということになる。ところが、この夢の話は科学的に証明できない。嘘をついているかもしれない。父の夢を見たときに父の死と偶然に一致したのかもしれない。抑留生活で疲れていたから、父の夢をひんぱんに見ていたのかもしれない、とかいろいろ推測できる。靈魂の存在は科学的には証明できない。19世紀には科学者たちが懸命になって靈魂の存在を証明しようとしたが、結局できなかったという歴史が残っている。せいぜい、存在が証明できないとしても、靈魂はあるかないか分からない、としか言えない。父の霊と夢の中で出会ったことを書いた人は、シベリア抑留の個人史を出版した盛岡の人。抑留生活の事実を書いているだけで、夢で父を見たのもその流れの中の一つの事実にすぎない。となると、遠く離れた日本からシベリアの地まで靈魂が飛んできたという話になってしまう。科学を信じる現代では馬鹿げた話だとなってしまう。でも、この人が嘘を言っている、と言えるだろうか。

青森に住んでいる兄が風を引いたというので見舞いに行った。10年ほど前からパーキンソン病という難病に罹っている。この病に対して、科学も今のところお手上げなのだ。からだを動かすのは大変なのだが、頭はしっかりしている。兄に会うと、入院中に変な夢を見たなあと言った。故郷は那須野ヶ原という平坦で変化のない地形になっている。一万年か二万年も前に洪水を起こして窪地になっている場所だけが変化がある程度だ。兄はそこで育った。もちろん、昔はその窪地は畑になっていて、水は流れていなかった。列島改造のあおりで耕地整理がされ、現在ではその窪地すら平坦になり、跡形もない。兄の夢は、子ども時代の風景であるその窪地に、洪水となって水が溢れ、Uくんという親戚の子と兄が洪水に呑み込まれて流されている夢だった。その洪水は、部落外れのKさんの家に激流となって向かっていた。このままではKさんも流されるというところで夢は終わっている。「どうして、UやKさんが夢に出てきたのかなあ。しかも洪水に呑み込まれそうになるなんて。変な夢だ。」と兄は語っていた。

見舞いから帰ってほどなくして、80過ぎのKさん、80近いUさんの死亡の知らせがあった。昔なら、それなりの寿命なのだが、現代科学の力からすればまだ長生きできる命だ。それにしても、兄が経験した洪水の夢は何を意味したのだろうか。亡くなった二人だけが兄の夢に出てきたのはなぜなのだろう。死亡した二人とも、兄から遠く離れた土地で暮らしており、兄も子ども時代を除けばめったに会っていないというのに。しかも、ここ10年ほど兄は歩行困難で旅行すらできない。夢に出てきた二人は亡くなり、夢を見た兄は生きている。

## 花 筏 (はないかだ)

NO. 150 裊地則子

何という心地よい響きのネーミング。それは昨年 9 月のこと。岩山を散策していたら、知人が小枝を揺らしながら歩いてきます。

珍しいものを見つけたというのですが、それはまぎれもなく花筏。葉の中央部に直径 5~6 mmの豆球がチョココンと乗っかっています。私は有頂天になり早速そのありかを案内してもらいました。それは岩山の展望台に向かう左側の薄暗い車道沿いにありました。遊園地も見える場所です。よほど注意深く見ないと見過ごしてしまうような高さ 1 m 程の低木です。よく見ると黒い豆球は雌雄の木によってそれぞれ形状が異なるのも面白い。花もまた雌雄によって違うといふので 6 月頃は興味津々です。

葉の上に花が咲き、実がなる神秘の花木に、岩山の別な場所でもカップルに逢えるにちがいないと思ってしまうのです。



# 交流の広場

## お茶との出会い

No. 373 高橋陽子

近くの友人宅で、お茶の先生をお呼びしてお茶を習っていると聞き、飲み方だけでもできるようになれば・・・と思い、月1度行くことにしました。その内割り稽古に入り、月1なので、行きたびに初めてのような状態で、先生に叱られてばかりいました。

職場（保育園）の園長が「お茶をやりたいから、誰か先生を知らないか」とのことで、紹介しました。一度先生に来て頂いたのですが、園長が「形だけだから、高橋やってくれないか」と言われ、それからがさあ大変、一応教えなければならず……。今は毎週先生の前で習うようになり、茶花も習い、お茶の奥深さ、凛とした緊張感を楽しむようになってきています。



## ● 「登攀競技場 認定講習会」 ●

4/29(土) 9:30  
～12:00 運動公園  
で認定講習会が行われ、山友会から



も書き換えのみを含め3名が参加しました。認定証(有効3年)の区分はA、B、C級で、利用できる4施設(屋外リードA壁・難、屋外リードB壁・易、ボルダリング場、練習場)がそれぞれ制限されます。今後、屋外及びボルダリング場の利用には全員認定証が必要になります。利用料金は、屋外・練習場 210円/1面 時間、ボルダリング場 420円/2面 時間です。

今年度の認定講習会は下記となります。4/29(土)終了、7/9(日)予定、10/15(日)予定、12月予定

## 御朱印

No. 472 小野由理

京都の神社や仏閣を巡る旅行が趣味です。毎回参拝するのは龍安寺、あの石庭を見ていると雑念が払われます。



御朱印帳を持参し朱印を頂き旅の思い出として見返すのが至福の時間です。本当は参拝をして写経を納経した証しに頂くものでしたが近頃は御朱印ガールやら朱印帳を持参して先に社務所をお願いすると番号札と引き換えに参拝の記念として頂くことができます。ちなみに右の御朱印は弘法大師さまの東寺です。



## 会報部員のひとこと

仕事の合間に、壁に貼ってある立体地図クニヤマップ岩手県を眺めます。「県境の風」は岩手県の北・西・南を周回しました。東側を見ると海に面して岩手県を南北に縦断する北上山地があります。奥羽山脈が海底からの隆起で険峻なのに比べ北上山地は大陸から離れた時からずっと陸地だったため気象作用を受けて全般的になだらかです。グループが県境後に登る山の話の様々耳にしますが、北上山地縦走も一案になりそうです。奥羽山脈の最高峰は岩手山 2038m ですが、北上山地は早池峰山 1917m で負けていません。ルートは分水嶺を辿ると明瞭で、西は北上川及び馬淵川へ注ぎ、東は全て太平洋へ注ぐ尾根です。起点は北上川河口の追浜付近にある翁倉山、終点は十和田三山経由で十和田湖の御倉山(溶岩ドーム)と仮定すると約 410 km になります。10 年近くかかりそうで 40 周年に向けてもいいかもしれません。追記ですが、翁倉山の麓にある追分温泉は開始前夜の飲み明かしに最適なお刺身いっぱい宿です。(和司)

■□ 表紙の言葉 □■

— きぬがさそう  
衣笠草 —

私が山友会に入会したのは、山野草が観たいからでした。

山野草は、可憐で健気で心和ませてくれます。ところが、衣笠草は貴婦人のごとく、気高く、凛として咲いていて圧倒されます。

因みに、衣笠草は日本固有種で、葉の形を昔、貴婦人が用いた衣笠に見立てたのが名の由来だそうです。

No. 196 工藤 敬子

あかげら 第342号

2017年5月24日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

[http://www.geocities.jp/morioka\\_sanyukai/](http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/)

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～